

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム 梅の木

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 2 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |   |                   |
|----------|------|---|--|---|-------------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間        |
| 1        | 4    | 運営推進会議は相互の意見を交換し、今後のサービス向上に活かす事が望ましい。職員間で話し合う機会を設け参加メンバーから意見が出やすい内容を検討する事を期待したい。また地域の消防団等へ再度呼びかけ、会議及び避難訓練の参加へつなげる事を期待したい。               | 運営推進会議にて意見が出やすい内容の検討。また地域消防団へ避難訓練参加の依頼。          | ①年6回奇数月に運営推進会議を行っているが、事前に職員間で会議内容を検討する機会を設け、事前に会議内容を運営推進委員へ伝達し、意見が出やすい状況を作っていく。②また地域消防団へ避難訓練参加の医らを再度行い、避難訓練開催の曜日も再検討する。 | ①早急に対応する<br>② 3ヶ月 |
| 2        | 33   | 家族の希望及び将来の事を考慮し、看取りに関する内部研修や勉強会を実施する事を期待したい。看取り経験がある職員の振り返り、及び経験が少ない職員への心のケアをお願いしたい。  | 内部勉強会で看取りに関する研修を開催し、全職員が対応できるようにする。              | 2か月に1回内部勉強会を開催しているので、その中で看取りの研修も取り入れ、正看護師からの実践的方法や知識を学び、また経験上の体験や他の職員が相談しやすい体制・組織づくりを行う。                                | 2ヶ月               |
| 3        | 35   | 備蓄品について、簡易調理・調理不要で入居者が食べやすい食品を含め、災害時に必要なものの再検討を期待したい。また備蓄品リストに数量及び賞味期限を記載した一覧表の整備を期待する。有事に備えた入居者等の受け入れ先施設について他福祉施設との協力も含め再検討する事をお願いしたい。 | 備蓄品に関しては職員間で話し合い備蓄リストを作成する。有事に備え他の福祉施設との協力体制の構築。 | 職員間で入居者が食べやすい食品等備蓄リストの作成を行い緊急時に備える。有事の他の福祉施設との協力体制に関しては、近隣のグループホーム(4事業所)と緊急時の協力体制整備済み                                   | 3ヶ月               |
| 4        |      |   |  |   | ヶ月                |
| 5        |      |   |  |   | ヶ月                |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。